

2007年8月24 - 25日に福島県天栄村で、「天栄・地域再生フォーラム 2007 バンドリと人が住む森へ」が開催されました。 来場者数は、2日間でのべ約300名でした。

(報告者：イベント企画・運営 岩崎雄輔)

会場内には、ムササビの生態紹介パネル、動物の剥製や痕跡、福島県における近年のムササビ・モモンガの研究の紹介、天栄村の生き物について、天栄村湯本の自然に関するクイズおよび約100点の福島県の生き物写真展などを展示しました。

岡崎弘幸氏（東京都立武蔵高等学校）には、ムササビの滑空について講演していただきました。



参加者も滑空モデルを作り、滑空のしくみについて楽しみながら学びました。



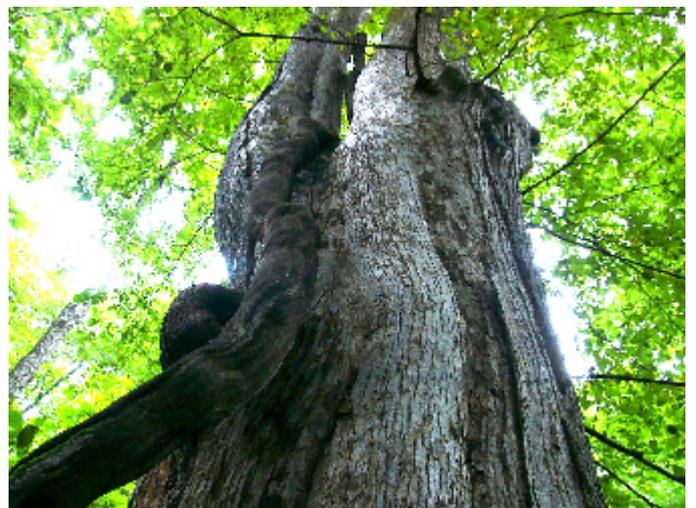
川道武男氏（関西野生生物研究所）には、ビデオを使用してムササビの生態と社会について講演していただきました。



関 敦史氏（福島県立船引高等学校）と岩崎雄輔は、縄文時代と現代におけるムササビと人の関わりについて講演しました。



高橋真希氏（福島フィールドワークス）は、裏磐梯でムササビ・モモンガに出会えるまでの奮闘記を声高らかに講演してくださいました。



夕方からの鎮守の森での観察会では、約 15 名の一般参加者が集まり、**ムササビ 2 頭（親子）の出巢と滑空を見ることができました！**



観察できたムササビ（幼獣）



夜の懇親会では、地元旅館の自慢の料理を食べながら、ムササビや地元話で盛り上がりました。



懇親会の最後は『ムササビワッショイ！』で締めました。

25 日の午前の基調講演では、ムササビ、環境、天栄村湯本の取り組みなどについてさまざまな話題が提供されました。

午後はパネルディスカッション形式で、新妻弘明氏(東北大学)をコーディネーター、川道武男氏(関西野生生物研究所)、岡崎弘幸氏(東京都立武蔵高等学校)、富田昇氏(多摩市文化振興財団)、石原茂雄氏(NHK 福島放送局)、岩崎雄輔(地域再生ネットワークワーク研究会・湯本バンドリ調査員)の5名がパネラーとして、フォーラム「バンドリと人が住む森へ」を行いました。

森、バンドリ、人は昔ではいろんなつながりの中でその地域で互いに身近な存在でしたが、現代はそのつながりが切れてしまっている問題についてなど、さまざまな意見を出し合いました。



パネラーのみなさん



コーディネーターの新妻弘明氏

またフォーラムでは、この地域ですぐにできることをいろいろとご提案していただき、地元にとってとても有意義なフォーラムだったと思います。提案されたことを実行するために、すでに活動を始めています。今後はこれらの提案を実現することはもちろん、もっとこの活動の輪を広げていこうと思います。講師をはじめ、ご協力いただいた方々ありがとうございました。

25 日のフォーラム内容を収録した報告書を作成中です。

ご希望の方は、岩崎もしくは yumotobandori@yahoo.co.jp までご連絡ください。